

H27年度「サマーチャレンジボランティア2015」事業活動報告

1 ボランティア活動 受入れ先 95 施設・団体 (H26年度: 111 施設・団体)

《内訳》

高齢者施設、児童施設、障がい児者施設、医療機関、ボランティアグループ、その他

※受入れ先 95 施設・団体内 参加者あり: 76 施設・団体

参加者なし: 19 施設・団体

2 ボランティア活動 参加者数 327 人 (H26年度: 337人)

《内訳》

・中学校 136名 (柳町、櫻ヶ岡、三陽、東北、北部、東部、西部、犀陵、戸隠、更北、広徳、川中島、篠ノ井東、篠ノ井西、信州大学付属、日本大学付属、屋代高附属中)

・高校 170名 (長野西、長野東、長野吉田、長野工業、長野南、篠ノ井、松代、市立長野、長野女子、長野日大、文化学園、長野清泉女学院、長野俊英、屋代、須坂東、須坂園芸、須坂創成、長野養護高等部、豊野高等専修学校)

・大学、短大、各種専門学校

18名 (長野県短大、群馬県立女子大学、群馬医療福祉大学、長野社会福祉専門、文化学園長野専門、信州医療福祉専門、長野看護専門、長野赤十字看護専門、須坂看護専門)

・社会人 3名

3 事前研修会 7月18日(土) 13:30~16:30 ふれあい福祉センター

参加者 230人、 63 施設・団体

参加者: “自己PR、サマチャレでやりたいこと”

受入先: 講演「ボランティアを受け入れるには」

講師 妻鹿ふみ子氏 (東海大学社会福祉学科教授)

顔合わせオリエンテーション

4 事後研修会 8月29日(土) 14時~16時 ふれあい福祉センター

参加者 161名、 16 施設・団体

参加者による振り返り。受入先からの感想・今後のお誘い

●参加者感想より

- ・とても楽しかった、参加して良かった！
- ・ボランティア活動の機会を頂きありがとうございました。活動を通して、多くの方と触れ合うことができ、良い夏になった。今後もボランティア活動に積極的に関わっていきたい。
- ・自分の知らないことをたくさん知れて良かった。また自分にとってもプラスの経験をする事ができ、感動した。
- ・このボランティアを通して自分自身を変えるきっかけをもらえたとし、今後の生活に生かせることもたくさん見つかった。ありがとうございました。
- ・本当に大変だと思ったけど、考えさせられたし意識を変えられた。貴重な体験ができた。
- ・新しい経験をする事ができたので、本当に良かった。このことを生かして頑張りたいし、自分のまだまだな所も分かって良かった。ありがとうございました。
- ・受入先の方が親切でとても嬉しかった。ボランティアという立場なので、できることは限られていると思うが、人と関わり役に立っていると実感できた。
- ・普段体験できない事ができた。子どもと接することはないので、貴重な体験だった。
- ・3日間は長いようで短かったけど、楽しくやりがいがあった。
- ・ボランティアでなければできないような経験ができたので良かった。ボランティアを通して様々な人と触れ合えたので、いい経験になる。
- ・3日間だからこそ気を抜くことなくできたので、良かった。
- ・いろいろな人との交流ができたことこそが、人生の活力になると思う
- ・最初、3日間は長いと思ったが、あっという間で、もっとやりたかった。今度活動する時は、子ども達の所ではなく、おじいちゃんおばあちゃんのところに行きたいと思った。この活動を通して成長できたことが、たくさんあるので良かった
- ・夏休みを利用して、自分を変える何かをつかみたいなと思い参加した。緑が好きという理由で〇〇へ応募したが、様々な経験をする事ができて、本当に良かったと思う。人に感謝し自ら行動する大切さを学ぶ事ができた。
- ・ボランティアを初めてやってみて、すごく楽しかった。「ありがとう」と言われたときはとても嬉しかった。またボランティアをしてみたい
- ・受入先の方がやることあるのに私たちに付き合っていて、学ぶこともたくさんあって良かった。
- ・サマチャレを経験して、時間をしっかり守る、挨拶をきちんとするなどの基本的なことをしっかり身につける事ができた。これからもこの経験を生かして将来に役立てたい
- ・中学の頃からずっと興味があり、初めて参加したのですが、今後の自分にとってすごく良い体験になった。ありがとうございました

●受け入れ先感想より

- ・ 普段接しない年代の子が来て利用者様に変な刺激になった。
- ・ 参加者の特技（吹奏楽、サッカー）の発表の場を設け利用者様が元気になった。
- ・ 利用者様も喜ばれ、参加したボランティアも色々と学ぶことや課題が見つけれられたと
のことで良かった。
- ・ 昨年の参加者が「楽しかったので今年も」と来てくれて嬉しかった。昨年より成長した活動が見られた。積極性が伴っていた。
- ・ 若いボランティアの力が利用者様の生活の質を高めてくれた。そして職員も大きな刺激を受け専門職として「負けられない」と感じさせてくれた。
- ・ 利用者様の話し相手としてしっかりと聞いてもらい大変助かりました。また、利用者様の笑顔も多くみられ、改めてしっかりと話を聞く大切さを感じました。
- ・ 子ども達と多様な関わりをしてもらえた。新しい風が吹く。職員が自らを見つめる端緒となった。
- ・ 今年参加して下さった人達は皆、子ども達にとけこみ、積極的に動いてくれました。子ども達がボランティアの人たちが来てくれるのを楽しみにしていて夏の思い出として残ったと思います。今後の職業選択の参考になったという人もいて、良い事業だなと思いました。